

議員「立法ブーム」

今通常国会の主な議員立法

- 成立した法律
- *特定非営利活動促進(NPO)法 (自、社、さ)
- 土地再評価法(自、社、さ)
- すでに提出された法案
- *情報公開法案(共)
- 行政情報公開法案(民、和、由)
- 国家公務員倫理保持法案(民、和、由、共)
- 国会職員倫理保持法案(民、和、由)
- 国会議員資産公開法改正案(民、和、由)
- 国民の祝日に関する法改正案(民、和、由)
- *スポーツ振興投票の実施等に関する(サッカーくじ)法案(自、新、主、社、さ)
- *議院証言法改正案(衆院議運委員長提出)
- 提出準備が進んでいる法案
- 公務員倫理法案(自、社、さ)
- 政治腐敗防止法案(自、社、さ)
- 児童買春、児童ポルノ行為等の処罰、児童保護法案(自、社、さ)
- 国民の祝日に関する法改正案(自、社、さ)
- 政治家の株取引規制法案(民)
- 選択的夫婦別姓導入のための民法改正案(民)
- 財政構造改革法改正案(和)
- 天下り禁止法案(和)
- 公共事業契約適正化法案(和)

〈注〉*は以前の国会から審議が続いている法案。カッコ内は、法案提出者・提出予定者の主な所属党派名。自=自民、民=民友連、和=平和・改革、由=自由、共=共産、社=社民、さ=さきがけ、新=旧新進、主=旧民主

■憲議変化
三年がかりだったNPO法が先月十九日、全会一致で成立。橋本龍太郎首相も「行政の気づかない分を補完する」と歓迎した。この三十歳代の若手議員が押し、法律は、社民党の辻元清美、進めた。議員立法が盛んになった要因として大部分の政党が

参院選控え「脱官僚」の兆しも 政策をPR

国会議員の法律作りが花盛りだ。今国会にはこれまで、議員立法による十四法案が提出され、すでに特定非営利活動促進法(NPO法)が成立。買春ツアールや援助交際を規制する法案、祝日の三連休化を進める法案、政治家のあつせん利得を禁止する法案なども準備されている。参院選を控えて各党が政策をPRしたいという事情もあるが、法案づくりの中心となってきた官庁が不祥事続きで勢いを失っているなか、国会が脱「官僚支配」に動き始めている兆しともいえる。

与党を経験したこともあけられる。枝野氏は「野党で提出した法案も、与党になった瞬間に成立する。いい法案を準備しておきたい」と、政権交代の可能性が議員立法ブームを呼んでいると分析する。

PR狙い
大型減税などができるよろにするため、財政構造改革法を改正するの。国会が抱える最大のテーマは、低迷する景気への対応策だ。先月三十日、議員立法として財改革法の改正案を打ち出したのは、大型減税実現をアピールしたい、旧公明党議員を中心とする平和・改革だ。

議員立法で財改革法を改正しようという話は参院の自民党内にも強まっている。首相の責任論を回避することが一つの狙いだ。参院選に向けてアピールしたいという気持ちは同じだ。

野党側は今国会に行政情報公開法案、祝日月曜化法案などを次々と提案。公務員倫理法案の提出では民友連、平和・改革、自由党の三党派に加えて、共産党も同調している。

買春ツアーや援助交際への対応策に頭を悩ましていた社民党の清水登子氏やさきがけの堂本曉子氏は、国内初の児童買春や児童ポルノを規制する法案要綱をまとめたいま、官僚に対する不信感を隠さない。政府は元々、「現行法で十分規制できる」という立場だった。堂本氏は「あいまいな言葉で取り縮まりやすい」「上からみた法案」を官僚は求める。性の問題はプライバシー。罰する行為を

の朝鮮提案 「誠意ある対話を」

北南北北会談

金大統領 会見で参加を明言

【ソウル5日】波佐場清(韓国)の金大中大統領は五日、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が前日に呼びかけてきた南北次官級会談開催の提案に応じる考えを明らかにした。ロンドンでのアジア欧州会議(ASEM)からの帰国報告を兼ねた記者会見で「参加する」と述べた。北朝鮮側の「十一日に北京で」とする提案を基に日程などの調整が行われる可能性はあるが、一九九四年七月の南北首脳会談準備協議以来の当局者会談が近く開かれるのは確実の見通しだ。

「真水の規模最低8兆円」
総合経済対策 自民・山崎氏
自民党の山崎拓政調会長は五日、総事業費十六兆円を上回る総合経済対策のう

をほったきりさせ、取り縮まりは必要最小限にする。「下からみた法案」を目指した。視点が違うと振り返る。いま、与党内で調整が続いている公務員倫理法案はそろそろ不信感の固まりといえる。「政府提出の法案では官僚に骨抜きにされてしまふ」。こんな声は自民党でも強まっている。